

流体計測機器のパイオニアとして 高い技術と先見性でさらなる飛躍へ

創業以来、流体計測機器の専門メーカーとして国内はもとより世界にマーケットを広げる東京計装株式会社。同社の代表取締役社長 杉 時夫氏にお話をうかがった。

これから伸びる産業分野に
いち早く自社開発製品を投入

さまざまな産業の発展にはこれを支える工業計器が必要だ。東京計装株式会社は日本の代表的な計測機器メーカーとして、多くの産業分野に向けて流体計測機器を提供し続けている。「はかると」という工程は分野を問うことなく、その活動域は電力、鉄鋼、石油、化学、食品、医療など幅広く利用されている。例えば、ペットボトルの飲料を一定の量に充填するには流体計測機器の存在がなければ実現しない。

なかでも最近、需要が高まっているのが半導体設備・装置の分野だ。「国内や海外には多数の流体計測機器メーカーが存在します。当社は業界のパイオニアとして、常に次の時代に求められる機器をいち早く開発し、これをマーケットに投入することで、業界を牽引する高い技術とシェアを誇ってきました。半導体の製造プロセスは特に高い精度と技術力が求められ、IT化の進む現在において成長を遂げている分野です。当社も流体計測機器メーカーとしてこの分野の成長を見据え、他の分野で培った経験と高度な技術をつぎ込むことで製品開発を先駆けて進め、国内外の半導体製造装置メーカーから高い評価をいただいています」(杉氏)

さまざまな分野の産業を支えることと



東京計装株式会社 代表取締役社長
工学博士 杉 時夫(すぎ・ときお)氏

もに、他社に先を越されることのない将来の産業動向を見据えた先見性が、同社の今日を築いてきたと言えるだろう。

創業以来、 一貫した直販体制を継続

プラントを安全かつ効率的に運転・管理する上で欠かすことのできない工業計器のメーカーとして、同社が創業以来、守り続けてきたのが直販体制だ。販売代理店を通すことなく、自社で開発から製造、販売、メンテナンスまでを一貫して行っている。

「当社の製品を採用し、利用していただく企業に対して、責任を持った対応をするためには、直接販売が不可欠です。当社の身の丈に合わせた、目の届く範囲で自ら販売活動を行ってきたことで、堅実な成長を続けられたのだと考えています」(杉氏)

ワンストップサービスを提供することで、各産業界の求めるニーズを直接、製品開発にフィードバック。これが業界他社の追随を許さない同社の地位を確立した大きな要因にもなった。

同社はおよそ8年半前より中国に進出。その際にも従来からの理念は貫かれている。

「中国への進出にあたり、まず行ったのが中国人社員の採用です。日本国内で優秀な中国人スタッフを雇用し、本社の社員として中国に派遣、事業所の開設から定着・安定化を進め、徐々にマーケットを広げました。現在ではおよそ25名の中国人社員が在籍しています」(杉氏)

経済発展が著しい中国に製造拠点を設立し、中国市場に参入することによって事業を拡大。重慶の合弁会社によって1500人の販売スタッフを抱えるまでにわたった。そのネットワークは中国の広範囲にわたる。

「お客様のニーズの実現を常に念頭に置き、これまでにない製品を提供し続けることが大切です」(杉氏)

その言葉の奥には、世界中の産業を視野に入れた、さらなる発展への自信がみなぎっている。

全ての選択には、
フィクションに勝るドラマがある。

Turning Point
賢者の選択
A Shrewd Man's Choice

<http://www.tp-kenja.jp>

●全国放送

BS-TBS

毎週日曜
午前 9:30-10:24

日経CNBC

毎週日曜
昼 12:00-12:54

●兵庫・大阪

SUN-TV

毎週月曜
夜 10:00-10:54

東京計装株式会社

本社:〒105-8558 東京都港区芝公園1-7-24 電話 03-3434-0441
<http://www.tokyokeiso.co.jp>

●設立: 1954年 ●代表者: 代表取締役社長 杉 時夫 ●従業員数: 約600名 ●事業内容: 流量計測機器、陸上用・船舶用液面計測機器の製造、販売および保守。